

「上北そば」認定店認定制度実施要領

制 定 令和 2 年 8 月 2 4 日
一部改正 令和 5 年 8 月 2 3 日
一部改正 令和 7 年 1 0 月 2 7 日

（目的）

第 1 この要領は、十和田市、三沢市及び上北郡の町村で生産されたそば（以下、「上北そば」という。）を扱う飲食店及び小売店等を、「上北そば」認定店（以下、「認定店」という。）として認定し、「上北そば」の知名度向上と生産・消費拡大に資することを目的とする。

（定義）

第 2 この要領における「上北そば」の定義は、次のとおりとする。

- （1）十和田市、三沢市及び上北郡の町村で生産されたそばであること。
- （2）品種は、「にじゆたか」、「階上早生」、「キタワセソバ」であること。

（実施体制）

第 3 「上北そば」認定店認定制度は、青森県上北農林水産事務所農業普及振興室、上 北管内の市町村、農業協同組合、そば生産組織、そば実需者、かみきた産直ネットワークで構成する「上北そば活用推進協議会」（以下、「協議会」という。）により実施する。

（認定基準）

第 4 認定店は、次の要件をすべて満たすこと。

- （1）十和田市、三沢市及び上北郡の町村において、「上北そば」を扱う飲食店及び小売店等であること。
- （2）「上北そば」を使用したメニュー、商品等の提供期間は必ずしも通年であることを要しないが、原料のそばはすべて「上北そば」であること。
- （3）そば麺の場合、そば粉の割合が50%以上（小麦粉などのつなぎがそば粉の割合を超えないこと。）であること。
- （4）認定に関する情報の公開について承諾していること。
- （5）食品衛生法、食品表示法等の関係法令を遵守していること。

（認定）

第 5 認定店の認定を受けようとする店舗の代表者は、「上北そば」認定店認定申請書（様式第 1 号）により協議会（青森県上北農林水産事務所農業普及振興室）に申請するものとする。ただし、店舗を複数有する者にあつては、店舗ごとに申請するものとする。

2 協議会は、前項の規定による申請書を受理し、第 4 の基準を満たすと認める場合、「上北そば」認定店として認定を行うものとする。

3 協議会は、前項の認定を行った場合、「上北そば」を使用したメニューを提供する飲食店に対しては「上北そば」提供店認定証（様式第 2 - 1）、「上北そば」を取り扱う小売店等

に対しては「上北そば」販売店認定証（様式第２－２）を交付するものとする。

- ４ 認定店の認定期間は、認定した日からその年度の３月３１日までとする。ただし、認定内容に変更がなく、かつ辞退の届出がない場合は、自動更新するものとする。

（変更の届出）

- 第６ 認定店の代表者は、申請内容に変更があったときは、速やかに「上北そば」認定店認定変更届出書（様式第３号）を協議会に提出しなければならない。

（認定の辞退）

- 第７ 認定店の代表者は、第４の基準を満たさなくなったとき又は認定の取消を求めるときは、速やかに「上北そば」認定店認定辞退届出書（様式第４号）を協議会に届出するとともに、認定証（飲食店にあつては認定証及び認定プレート）を返還しなければならない。

（認定店の責務）

- 第８ 認定店は、お客様から見える位置に認定証（飲食店は認定証及び認定プレート）を掲示するものとする。
- ２ 認定店は、「上北そば」をお客様にＰＲするとともに、「上北そば」の知名度向上に係る活動等に協力するものとする。
- ３ 認定店で「上北そば」以外のそばを同時に提供（販売）する場合は、消費者が「上北そば」を選べるように工夫するものとする。

（現地確認）

- 第９ 協議会は、認定店に対し、第４の基準を満たしているかを現地確認することができるものとする。

（認定の取り消し）

- 第１０ 協議会は、次のいずれかに該当する場合には、認定を取り消すことができる。
- （１）第９の確認により認定基準を満たしていないと認められた場合
- （２）その他、協議会が認定店として適正を欠くと認めた場合
- ２ 前項の規定により認定を取り消されたときは、速やかに認定証（飲食店にあつては認定証及び認定プレート）を返還しなければならない。

（その他）

- 第１１ その他、この要領に定めるもののほか、必要な事項については、別に定めるものとする。

附 則

この要領は、令和２年８月２４日から施行する。